

第5回つくばコンピュータサイエンス産学オープンカレッジ

セキュリティキャンプ・キャラバン

with プログラミング-筑波-

若年層の情報セキュリティ意識の向上と優れたセキュリティ人材の発掘と育成を目的として、毎年開催しているセキュリティキャンプの成果とその蓄積されたノウハウを広く一般の方々にも公開すること、これからキャンプに参加していただきたい若い方々に正しい情報セキュリティの理解と意識の向上を図ってもらうこと、また、オープンソースソフトウェア(OSS)を中心としてプログラミングやアプリケーション開発について興味を持っていただくことを目的として、「セキュリティキャンプ・キャラバン with プログラミング-筑波-」を開催します。皆様のご参加をお待ちしております。

どなたでも参加できます(参加無料)

みんなで学んでみんなで守る!



開催日時 ● 平成19年12月22日(土) 10:00~16:10 (終了予定)

開催場所 ● 筑波大学 総合研究棟B 1階 112講義室

〒305-8573 茨城県つくば市 天王台1-1-1

(つくばエクスプレス つくば駅から大学循環バス(右回り) 第一エリア前下車)

<http://www.cs.tsukuba.ac.jp/>

参加の申込 ● E-mailまたはFAXにてお申込ください。なお、事前の申込なしでもご来場いただけます。

参加申込先・お問合せ先 ● 財団法人日本情報処理開発協会「セキュリティキャンプ事務局」

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-9 (機械振興会館内)

TEL:03-3432-6964

FAX:03-3432-9389

E-mail:camp@jipdec.or.jp

■個人情報の取扱いについて(以下の内容にご同意の上、お申し込みください)
参加申込みの際にいただきました個人情報は、セキュリティキャンプ・キャラバン with プログラミングの運営のみに使用させていただきます。第三者への個人情報の提供、預託、開示は行いません。

<http://www.jipdec.or.jp/camp>

(詳しい応募内容はホームページをご覧ください)

主催：経済産業省

財団法人日本情報処理開発協会

共催：筑波大学大学院システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻

後援：文部科学省

R100
RESEARCH INSTITUTE FOR
INFORMATION TECHNOLOGY

セキュリティキャンプ・キャラバン with プログラミング 2007 集まれ “若い力”

若年層の情報セキュリティ意識の向上と優れたセキュリティ人材の発掘と育成を目的として、毎年夏に開催しております合宿形式でセキュリティ技術の実習と演習を行う「セキュリティキャンプ」も今年で4回目の開催を終了しました。

そこで、過去4年間のセキュリティキャンプの成果とその蓄積されたノウハウを広く一般の方々にも公開することと、これからキャンプに参加していただきたい若い方々に正しい情報セキュリティの理解と意識の向上を図ってもらうこと、さらに、情報セキュリティだけでなく、オープンソースソフトウェア(OSS)を中心としてプログラミングやアプリケーション開発についても若い方に興味を持っていただくことを目的とした研修イベント「セキュリティキャンプ・キャラバン with プログラミング」を全国8箇所(予定)で開催します。

セキュリティキャンプ・キャラバン with プログラミングでは、

1. セキュリティキャンプとは?
2. 正しい情報セキュリティを理解する
3. 最新の情報セキュリティ技術の動向を知る
4. プログラムが動く仕組みを理解する
5. プログラミングの楽しさを学ぶ
6. オープンソースとの付き合い方

などを講義内容の中心とし、セキュリティキャンプの講師陣を中心にプログラミングの世界で著名な方々が各地を回って、セキュリティキャンプをご紹介させていただくとともに、情報セキュリティへの理解と最新の動向、およびプログラミングへの正しい理解を深めていただけるような講義をいたします。

情報セキュリティやプログラミングに興味を持つ若い方々、また、これまであまり関心の無かった方や、日頃、セキュリティやプログラミングの問題でお悩みの方々など、広く多くの皆様に参加していただきまして、セキュリティキャンプについてご理解いただくとともに、正しい情報セキュリティとオープンソースを中心としたプログラミングについての理解を深めていただきたいと思います。

セキュリティキャンプ・キャラバン with プログラミングの 講義内容

1. セキュリティキャンプの紹介

- セキュリティキャンプとは? (目的と概要)
- 今年のセキュリティキャンプ2007レポート (ビデオ映像)

2. セキュリティ基礎 (正しい情報セキュリティを学ぶ)

- セキュリティってどんなの?
- Winnyで情報漏洩
- 漏洩はどのようにして起きるのか?
- なぜウイルスは防げないのか
- ウイルスの目的と対策
- 詐欺メール、迷惑メール対策について考えてみよう ……など

3. セキュリティ応用 (より深く情報セキュリティを学ぶ)

- 会場によって講義内容が違います。
ホームページにて各会場の講義プログラムをご確認ください。
講義テーマとしては、
- マルウェアを体験する。
 - Webプログラミングの実践
 - Webアプリの脆弱性
 - 仮想マシンの原理と実装 ……など

4. プログラミング基礎

- コンピュータが動くには
- プログラムが動く仕組みを理解する
- プログラミングの楽しさ
- オープンソースって何? ……など

5. プログラミング応用

- プログラムの作り方を学ぶ
- プログラムでいるんなものを動かしてみよう ……など

6. セキュアVMプロジェクトの紹介

- ★会場によって講義内容が違います。
ホームページにて各会場の講義プログラムをご確認ください。

主催：経済産業省／財団法人日本情報処理開発協会

共催：筑波大学大学院システム情報工学研究科コンピュータサイエンス専攻

後援：文部科学省

セキュリティキャンプとは?

若年層の情報セキュリティ意識の向上と優れたセキュリティ人材の発掘と育成を目的として、合宿形式でセキュリティ技術の講習と実習を行う「セキュリティキャンプ」。2007年8月に開催されたセキュリティキャンプ2007の一部を紹介します。

- 講義科目は内容豊富、自分の興味に応じて選択できます。
講義は全員必須の基本科目と選択制の専門科目とがあります。

基本科目

情報セキュリティの基本的内容や、モラルや法制度、またウイルス・ポット・スパイウェアやフィッシング詐欺など実際に自分たちの周りで起こりうる様々な脅威について学ぶことにより、なぜ情報セキュリティが重要なのか、なぜセキュリティ対策をしなければならないのか、ということをしかりと身につけてもらいました。

専門科目

- マルウェアに感染したらどうなるのか。
 - パケット工作というインターネットの通信の根本を学ぶことでネットワークセキュリティを理解する。
 - Webページのプログラミングを学ぶことでWebページのセキュリティ対策を理解する。
 - セキュアサーバー構築やセキュアOSまで、サーバーに関するセキュリティを学ぶ。
- など、情報セキュリティ全般にわたる非常に多彩な科目から自分の興味に応じて受講しました。

- “キャンプ”にしかない出会いがあります。

講義は実習が中心で、基本的にグループ単位で受講します。講義内容と連動して様々なセキュリティに関するテーマについてグループ演習を行い、最終日には研究成果発表会を行い、最優秀グループには賞が送られました。
また、セキュリティ業務の現場を体感できる企業見学会や、業界で活躍されている最先端の技術者の方々との交流会を通じて、業界、仕事、技術動向など、貴重なお話を聞くことができました。
キャンプ全体を通じて、情報セキュリティの最先端で活躍している講師の方々から学ぶ一方で、出身地や年齢の異なる様々な参加者との共同生活により、将来貴重なものとなる出会いがありました。キャンプ後もここで出会った仲間との交流は続いています。



セキュリティキャンプ・キャラバン with プログラミング -筑波- **参加申込** **FAX: 03-3432-9389**

氏名		所属(学校名)	
TEL		E-mail	